

公益財団法人  
核物質管理センター



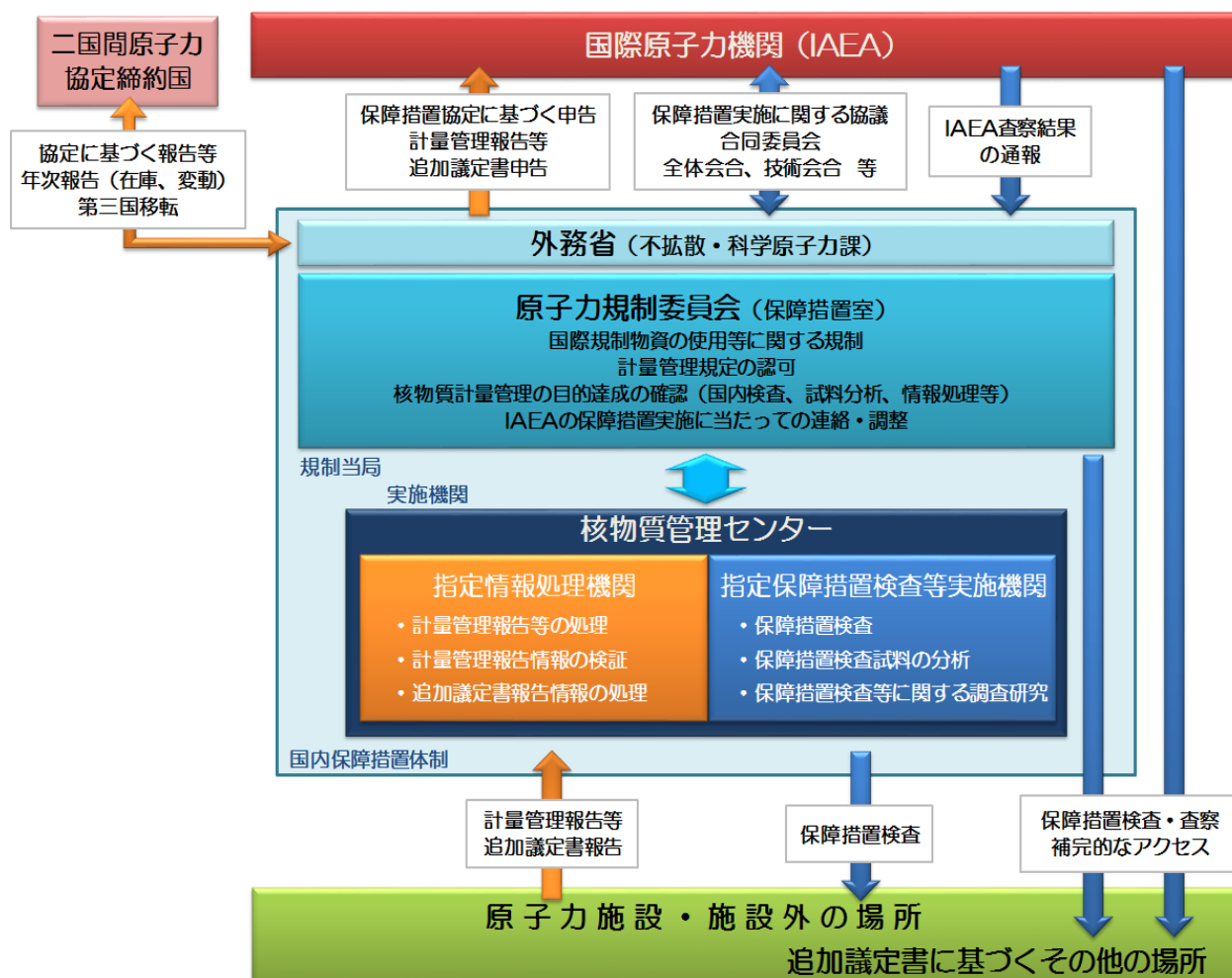
2019年度  
採用案内

- ◆核物質管理センターとは
- ◆核物質管理センター基本理念
- ◆保障措置検査等業務
- ◆保障措置検査等実施業務の流れ
- ◆情報処理業務
- ◆組織図 / 事業所
- ◆先輩職員を紹介します
- 🐦 事業所のある街  
Ueno周辺ウォーカー  
Ibaraki便り  
Aomori情報館
- ◆職員研修
- ◆核物質管理センター  
採用スケジュール
- ◆よくある質問Q&A

# 核物質管理センターとは

核物質管理に関する事業の実施を通じて、日本国内の核物質が平和目的だけに利用され、核兵器等に転用されていないことを確認する保障措置に関する重要な業務を行う公益財団法人です。

また、原子炉等規制法に基づく指定機関として保障措置関連業務を実施している唯一の機関です。



# 核物質管理センター基本理念

核物質管理センター(以下、「センター」という。)の基本理念は、使命と行動理念からなり、使命は、センターの社会的使命を果たすための意思表示であり、行動理念はその使命を具現化するためのセンター役職員等の行動の基本姿勢を示すものです。

## 使 命

核物質の計量管理、核物質防護等核物質管理に関する業務等の実施を通じて、原子力の平和利用とエネルギーの安定供給の確保に貢献する。

## 行動理念

- ・自ら研鑽に励み、核不拡散、核物質管理の基本的な理解を深め、センター業務の的確な展開に資する。
- ・核物質管理を推進する一員として、また、公共性を持つ組織の一員として、強い使命感のもと、国内外の要請に応える。
- ・自ら率先して高い品質の業務を実施するとともに、継続した業務改善に取り組む。
- ・個人を尊重するとともに、組織の力を最大限に発揮するための、公正な評価と相互協力に基づく明るい業務環境作りに努める。

# 核物質管理センター行動規範

センターの役職員等が業務を遂行する上での心構えを次のとおり8項目にまとめています。

- ・業務実施に関する社会的責任を自覚します。
- ・社会からの信頼を得ることができるよう努力します。
- ・業務は計画性を持って組織的に実施します。
- ・業務は、関係法令等に適切に対応し、規定を守り、定められた手続きに従って実施します。
- ・業務は品質を維持しつつ、注意深く的確に実施します。
- ・自己啓発に心がけ、よりよい教育環境をつくります。
- ・率直かつ誠実なコミュニケーションに努め、明るい健全な職場を作ります。
- ・社会的なマナーと社内ルールを守ります。

## 保障措置検査等業務

核物質管理センターは、1999年12月、原子炉等規制法に基づく指定保障措置検査等実施機関の指定を受け、次の業務を実施しています。

### 保障措置検査

原子力施設に立ち入り、計量管理の状況（正確性、完全性）を確認するために、帳簿の検査、計量管理報告書との照合確認、在庫及び移動の確認、非破壊検査、分析試料の採取、封じ込め・監視手段の設置等を実施します。

### 記録の確認

原子力施設内に設置した監視カメラや放射線測定装置等の記録を確認し、申告以外の核物質の移動がないことを確認します。

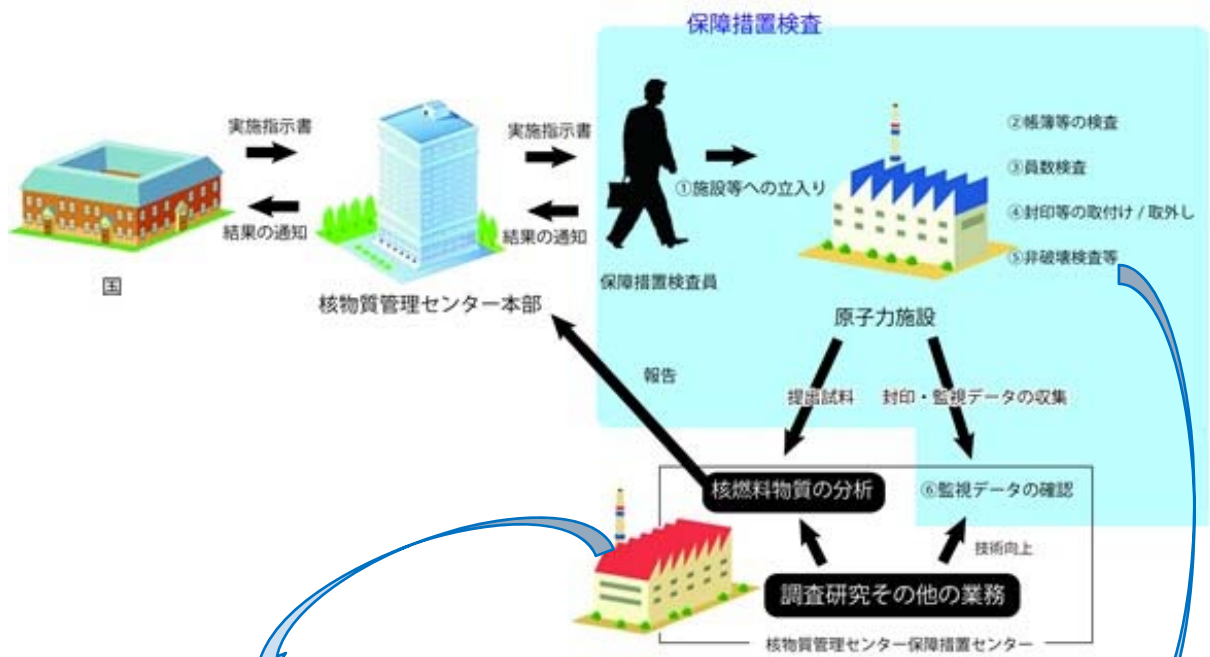
### 試料の分析

事業者の測定精度、正確性、物質収支報告の信頼性を確認するために、採取した核物質試料を国が茨城県東海村と青森県六ヶ所村に設置した保障措置分析所において、試料に含まれるウランやプルトニウムの同位体組成、含有率等を質量分析その他の化学分析法により分析します。

### 調査研究

保障措置検査や試料の分析などを円滑に実施するために必要な調査研究を行います。また、保障措置協定に基づく義務の履行とは別に、効果的かつ効率的なIAEA保障措置の実施のため様々な技術協力を行っています。

# 保障措置検査等実施業務の流れ



グローブボックス



員数検査



質量分析計



非破壊検査

## 情報処理業務

核物質管理センターは、1977年12月、原子炉等規制法に基づく指定情報処理機関の指定を受け、次の業務を実施しています。

### 情報整理

- 原子力事業者が国に提出した核物質の在庫変動、物質収支などの計量管理報告の内容が、国が認可した計量管理規定との整合、受払事業者間の報告書の整合、在庫変動と物質収支報告との整合等について確認し、保障措置協定に基づきIAEAへ報告する計量管理報告を作成します。
- 追加議定書に基づき原子力に関連する活動に関する申告情報を整理し、IAEAへ申告する資料を作成します。
- 二国間原子力協力協定に基づく核物質や資機材について報告する供給当事国別管理報告の内容を確認し、締約国に対する年次報告など報告書を作成します。

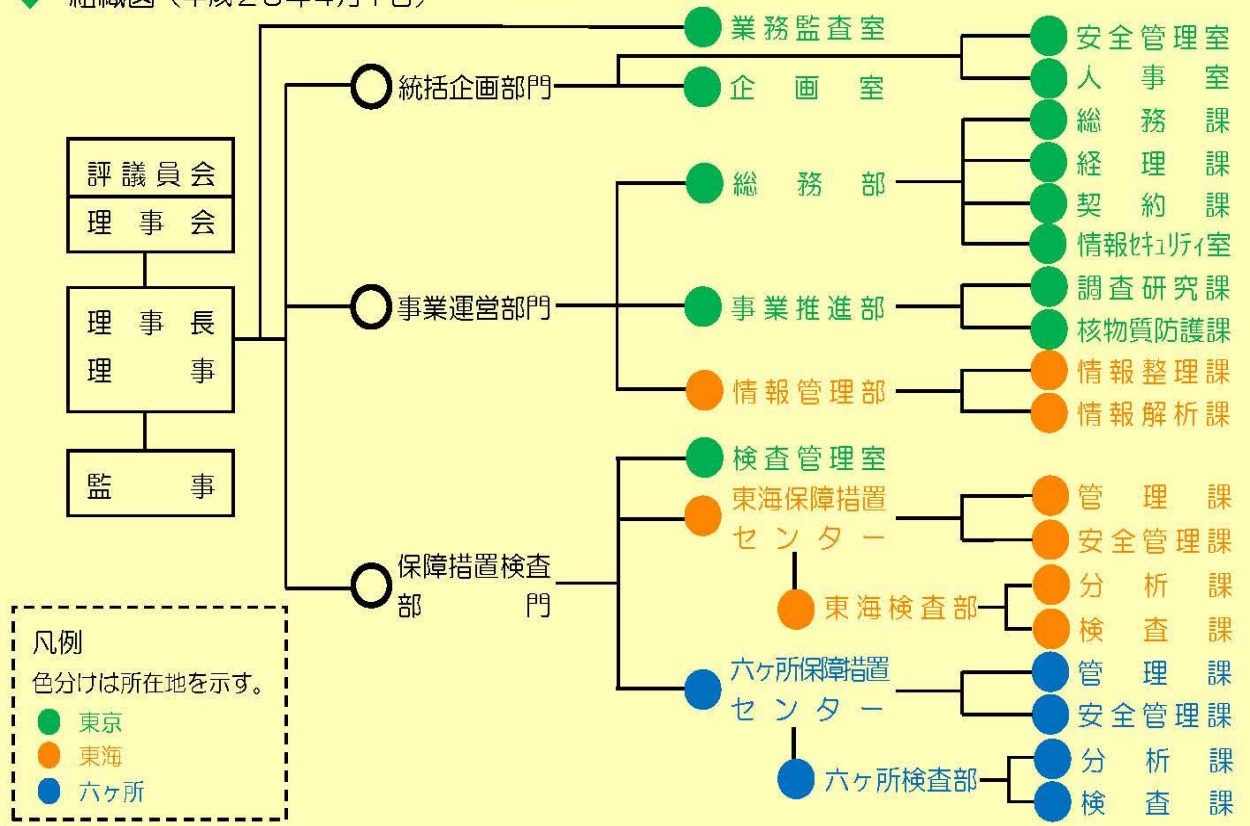
### 情報解析

- 保障措置検査で得られた様々な情報や採取した試料の分析結果と、原子力事業者から報告された計量管理データを統計学的に比較検討し、原子力事業者の計量管理が正確に行われているかどうかを解析します。



情報処理用計算機システム

◆ 組織図 (平成28年4月1日)



◆ 事業所



六ヶ所保障措置センター

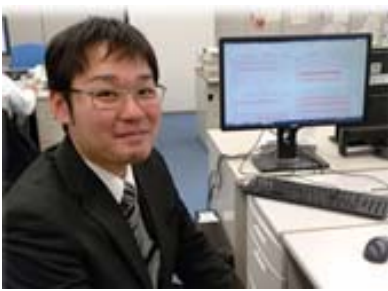


東海保障措置センター



本部  
(キクヤビル)





平成28年度入社(入社3年目)  
所属: 調査研究課(本部)

核物質の計量管理技術に関する研究を実施しています。  
日本による核物質の平和利用を確認するための基礎的な研究(核物質取扱施設の工程やそこで使用する測定器をシミュレーションできるソフトウェアを使い、その施設に適した計量管理技術を研究しています)で、国(原子力規制庁)や国際機関(IAEA)の活動を支援する重要な役割を担う、やりがいのある仕事です。

平成28年度入社(入社3年目)  
所属: 分析課(東海)

分析課では、国内の原子力施設における保障措置検査で採取された試料(核物質)に含まれる、ウランやプルトニウムの濃度及び同位体組成の分析を行っています。試料はウラン酸化物であったり、ウランとプルトニウムの混合物であったり、様々な種類があるため、試料に応じた分析手法が必要となります。分析課では、分析の正確さを優先して、世界的に標準となっている質量分析法や電位差滴定法を採用しています。  
分析技術に関する知識、経験を大きく活かせる仕事です。



# 先輩職員を紹介します



平成27年度入社(入社4年目)  
所属: 検査課(東海)

検査課では、国際原子力機関(IAEA)の査察官と共に原子力施設に立ち入り、国内の核物質が適切に管理され平和目的にだけ利用されていることを確認する活動(保障措置検査)を行っています。  
私は現在、保障措置検査で使用する測定機器の点検や管理を行っています。また、2年後の保障措置検査員の資格取得に向けて、放射線測定技術や保障措置検査に関する知識の習得に努めています。

平成29年度入社(入社2年目)  
所属: 情報整理課(東海在勤)

情報整理課では、原子力事業者等が国に提出する報告書(核燃料物質の状態や量、国籍等)に問題がないことを確認し、国がIAEA(国際原子力機関)や二国間原子力協定締約国に提出する報告書の作成等を行っています。  
現在、私は、報告内容の品質チェックからデータベースへの登録、そして集計結果を国に提出する仕事を行っています。事業者への連絡などの細かい作業から、IAEAとの会合への参加等もあり、英語力を含むコミュニケーション能力を生かせる仕事です。

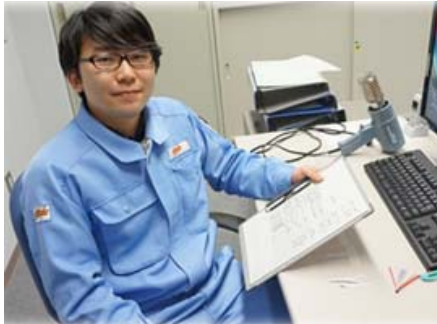
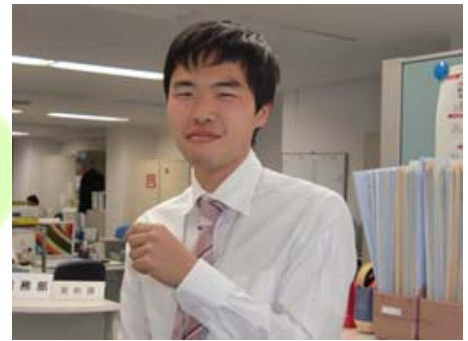


平成29年度入社(入社2年目)  
所属: 経理課(本部)

日々の業務では、伝票の作成・確認や、旅費などの請求書を精査しています。また、予算作成で必要となるデータの収集や資料作り、決算の下準備となる固定資産の管理等を行っています。

職場はフレンドリーな職員が多く、アットホームな雰囲気です。部長や課長から直々に指導いただける機会も多く、上下の隔てが少ないのも弊社の特徴の一つだと思います。学ぶべきことの多い毎日ですが、先輩方の的確なアドバイスやツッコミのもと、向上心を持って楽しく業務に取り組んでいます。

また、経理能力向上のため、簿記1級の資格取得に向けて勉強しています。



平成27年度入社(入社4年目)  
所属: 検査課(六ヶ所)

日本の核物質が平和利用されていることを確認するため国際原子力機関 (IAEA) とともに保障措置検査や、保障措置検査で使用する非破壊測定機器の点検・維持管理といった業務を行っています。

諸外国出身のIAEA職員と協力して業務を行う国際的な仕事で、また、日本が原子力活動を行っていく上で必要不可欠な、とてもやりがいのある仕事です。

# 先輩職員を紹介します



平成29年度入社(入社2年目)  
所属: 分析課(六ヶ所)

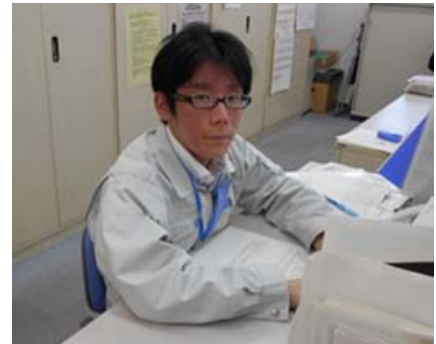
私が所属している部署では、原子力規制委員会や国際原子力機関 (IAEA) と連携して、核物質が平和目的でのみ利用されていることを確認する保障措置のために核燃料物質の分析業務をしています。

現在私は少しでも早く一人前の分析員となるよう、分析方法について学んだり分析に必要な技術の研鑽に励んでいます。

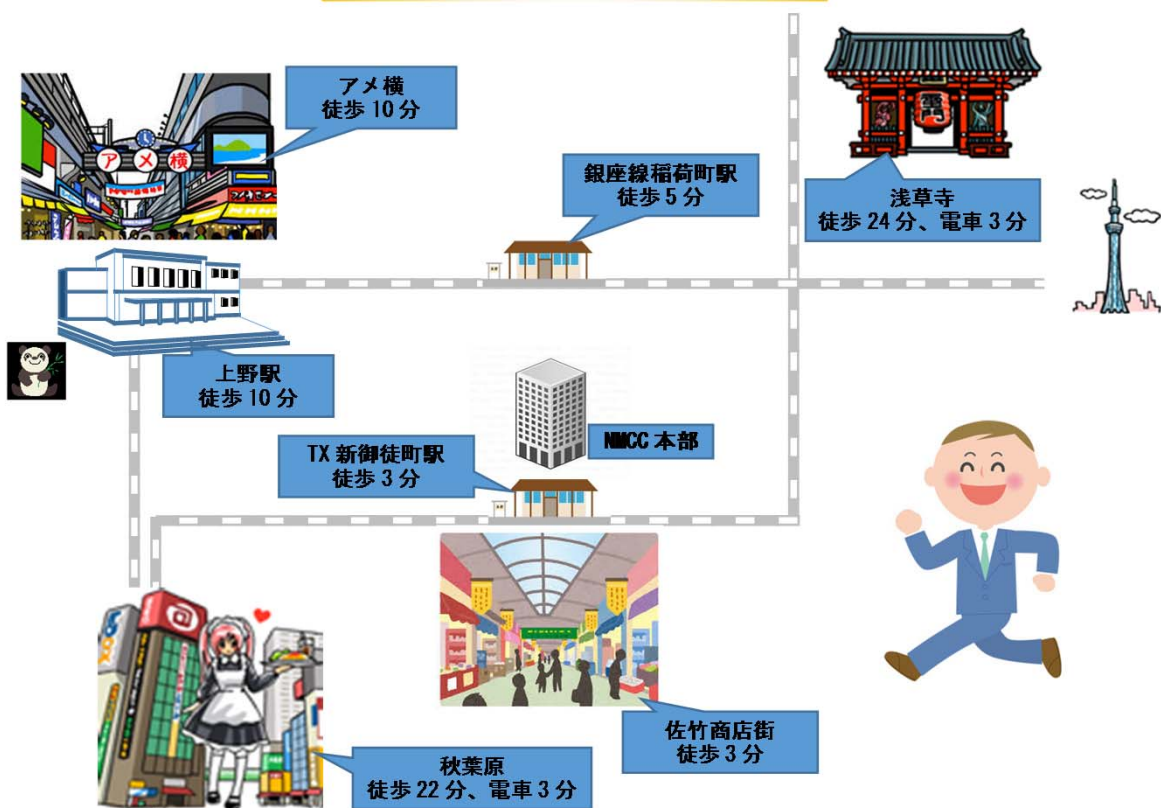
平成27年度入社(入社4年目)  
所属: 情報解析課(東海在勤)

情報解析課では、保障措置検査や試料の分析で得られた様々な情報と、原子力事業者から報告された計量管理データを統計学的に比較検討し、原子力事業者の計量管理が正確に行われているかどうかの解析を行っています。また、国際原子力機関 (IAEA) とも会合を行い、両者の解析結果について意見交換を行っています。

核物質が平和目的だけに利用されることを統計解析手法により確認する仕事は、やり甲斐があり、常に向上心を持って仕事に取り組んでいます。



## Ueno 周辺ウォーカー

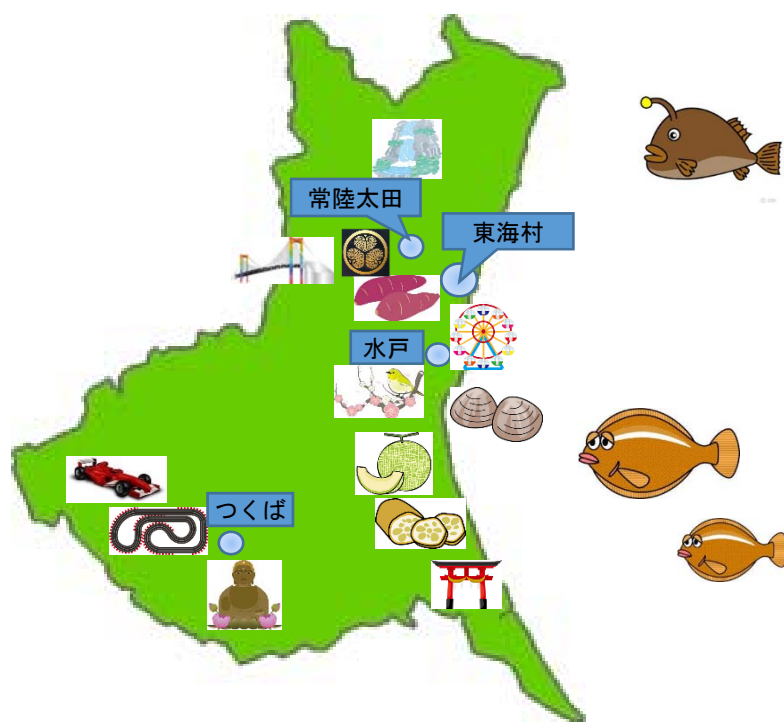


## イベント情報

- うえの桜まつり（上野：3 月～4 月）  
上野恩賜公園で開催される桜まつり。来場者数は 200 万人以上。
- 三社祭（浅草：5 月）  
浅草神社の例大祭。来場者数は約 200 万人。
- 朝顔市（入谷：7 月）  
入谷鬼子母神の境内、周辺で開催される朝顔祭り。
- 浅草サンバカーニバル（浅草：8 月）  
50 万人近く集まる浅草の夏の人気イベント。
- 酉の市（浅草：11 月）  
浅草の鷲神社で日本最大の酉の市が開催される。

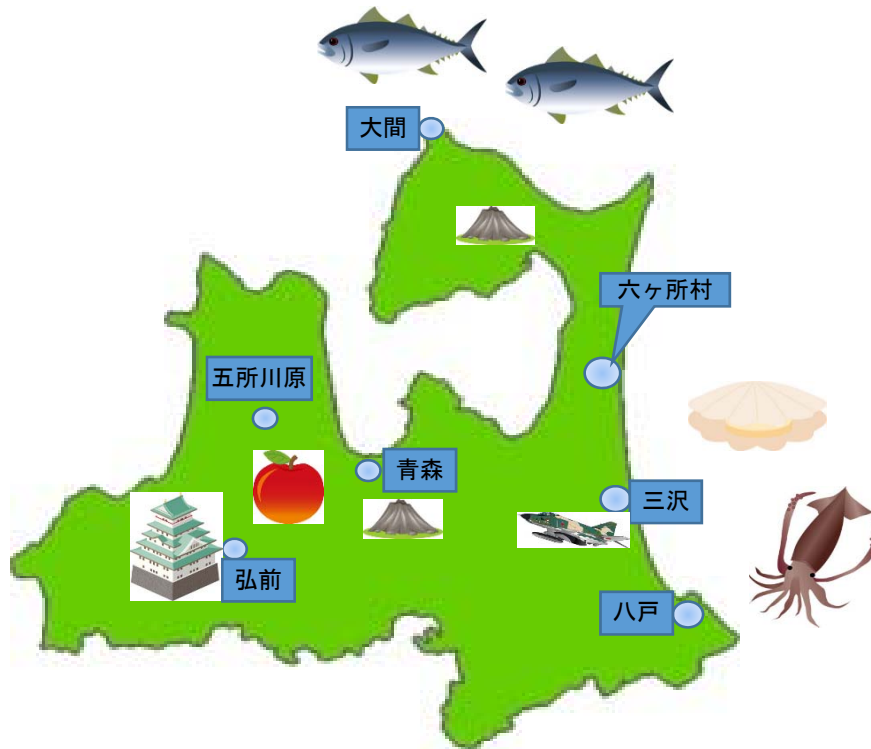


## Ibaraki便り



- 偕楽園（水戸）  
日本三名園の1つ。2月下旬から3月下旬に梅まつりが開催される。
- 国立ひたちなか海浜公園（ひたちなか）  
ひたちなか市にある公営の公園。5月頃のネモフィラ、10月頃のコキアが有名。8月にROCK IN JAPAN FESTIVALが開催される。
- 袋田の滝（大子）  
日本三大名瀑にあげられる場合がある。冬は氷瀑とよばれる凍結現象が発生する場合がある。
- 牛久大仏（牛久）  
全高120mの世界一の大きさのブロンズ製大仏。
- 西山荘（常陸太田）  
せいざん  
「水戸黄門」で知られる、徳川光圀公が藩主の座を退いた後、晩年を過ごした隠居所。
- 竜神大吊橋（常陸太田）  
茨城百景の一つにも挙げられている竜神峡に掛かる鉄橋。日本一高いブリッジバンジーができる。

## Aomori情報館



- ねぶた祭（青森：8月）、ねぶた祭（弘前：8月）、立佞武多祭（五所川原：8月）

ねぶた祭：8月2日から7日まで開催され、200万人以上が集まる。

- 弘前城（弘前）

江戸時代に建造された天守や櫓が現存する国の重要文化財。

- 三内丸山遺跡（青森）

縄文時代の大規模集落跡。

- 恐山

日本三大霊場の1つ。

- 航空ショー（三沢）

毎年9月頃に開催される  
アメリカ空軍三沢基地所属機による展示飛行。



# 職員研修



核物質管理センターでは、新入職員研修をはじめ、中堅職員研修、OJT(On-the-Job Training)など様々な職員研修があります。

その他、必要に応じて外部の研修やセミナーを受講することもできます。



TV会議システムによる中堅職員研修の様子

QMS(Quality Management System)研修の様子



初任者研修の様子

平成29年度は、核物質管理センターの役割や、規程・規則等組織の基本から、原子力の基礎知識まで6回開催されました。

理事長講話

海外経験豊富な理事長の講話は、貴重なお話が盛りだくさんです！



# 核物質管理センター 採用スケジュール (2019年度予定)

## ①募集活動

3月より  
ホームページに掲載

## ②採用試験

書類選考（一次審査）の上、  
筆記試験と面接（二次審  
査）が行われます。

## ③合格通知

審査の結果は速やかに  
通知します。

## ⑤入社

いよいよ  
新しい社会人生活が  
始まります！

## ④内定式

11月には内定式が  
あります。  
これでセンター職員の一員です。

### 3月

T F S S M T W T F S S M T W T F S S M T W T F S  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

## ① 募集活動

合同企業説明会  
「原子力産業の未来」  
出展 in秋葉原

### 9月

S S M T W T F S S M T W T F S S M T W T F S S  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

募集活動

### 10月

M T W T F S S M T W T F S S M T W T F S S M T W  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

② 採用試験（一次審査） ③ 合格通知（一次審査）

② ③ 合格通知（最終）  
採用試験（二次審査）

### 11月

T F S S M T W T F S S M T W T F S S M T W T F  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

④ 内定式

※2019年4月 ⑤ 入社

2019年度採用HPはこちら →



## よくある質問 Q & A



**Q1.** 事務系・技術系職員が入社前に身に付けておくべきスキル・資格はどういったものがありますか？

**A1.** 社会人として働く上での基本的なマナー（適切な言葉遣い、動作、身だしなみ等）を身に付けておくことが望ましい。その他、必須ではないが、事務系なら簿記3級、技術系なら放射線取扱主任者第1種、第2種などの資格が挙げられます。

**Q2.** 資格取得制度はありますか？

**A2.** 放射線の取扱いに関するもの、労働安全・衛生に関するもの、英語能力に関するもの他、必要な資格の取得支援制度があります。

**Q3.** 技術系職員の英語力について、実際の業務に必要な英語力はどの程度でしょうか？

**A3.** 明確な決まりはありませんが、英検であれば2級程度以上が望ましい。（TOEIC530）  
専門用語が多く、IAEA職員とのやりとりも必要になりますので、現場で経験をし、身に付けていってください。

**Q4.** 危険な業務はありますか？

**A4.** 検査、分析業務は直接または間接的に核物質を取扱いますが、放射線による被ばくは自然放射線（宇宙線、天然核種からの放射線）による被ばく量（日本では、2.1mSv）に比べ、かなり低いです。

**Q5.** 日本の原子力活動は停滞していますが、その影響はありますか？

**A5.** 保障措置とは核物質が平和目的以外に利用されていないかを確認する行為のため、活動の状況に関わらず、核物質が存在する以上、核物質管理センターの役割、活動に変わりはありません。

**Q6.** 休日は、土日祝以外にありますか？

**A6.** 年次有給休暇（年間20日）、慶弔等の特別休暇、夏季休暇があります。

**Q7.** 海外での仕事はありますか？

**A7.** 国際原子力機関（IAEA・ウィーン）への出向、長期出張があります。





### 本部

〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9  
 キクヤビル

### ◆採用についての問い合わせ先

電話: 03-5816-7733 (総務課 採用担当)



### 東海保障措置センター

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方白根2-53  
 電話: 029-306-3100 (代表電話番号)



### 六ヶ所保障措置センター

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字  
 野附504-36  
 電話: 0175-71-0460 (代表電話番号)